

高校生に伝えたい お金の困らないための くらしの基礎知識

—「生活設計」と「家計管理」を中心に—

第15回

講師：戸田節子

岩手県金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上セミナーを行います。
今回は、岩手県内の高校でお金に関する講座を担当している戸田アドバイザーに、
お金について何をどう高校生に教えるかをお話してもらいます。

「家計管理」と「生活設計」 生活の基本を高校生たちへ

「うちの生徒は素直だから卒業後にだまされないように悪徳商法の手口を教えてもらいたい」。講座を依頼してこられる高校の先生の多くから、こういう声が聞かれます。確かに悪徳商法の手口を知ることが大切で、私も講座で触れるようにしています。しかし、悪徳商法から身を守るために最も必要なことは「生活の常識」正しい金融知識を持つこと」だと私は考えています。このため、講座では生活の基本とすべき「家計管理」と「生活設計」、そして、自立するために知っておくべき「ローン・クレジット」、「保険商品」の4項目を中心に講義を行っています。

私が講座で、高校生に最も伝えたいのは「家計管理」の重要性です。これは本来、学校の授業や家庭でしっかりと教えるべき事柄だと思えますが、残念ながら、実際にはそうなっていないと思います。大人になってお金のトラブルを抱える人というのは、工夫したり、我慢したりすることを学んでこなかったため、お金が足りないときに借りることしか思いつかず、ついクレジットカードを使い過ぎて返済に困ってしまうなど、日々の家計管理、とくに支出のコントロールができない傾向があるようです。そこで、私の講座では、自分の夢の実現や毎日の暮らしにど

のくらしいのお金が必要か把握したうえで、日々の家計（「収入－支出」）を黒字化すること、そして、その黒字分を蓄えるという「家計の黒字化」の習慣が、社会人としての生活の基本であることをまず理解させます。しっかりと「家計管理」ができる人は賢い消費者ですから、お金の使い方です。大きなトラブルに陥ったり、「かならず儲かる」などという甘い言葉を鵜呑みにして、悪徳商法にだまされたりすることは無いのです。

また、家計の黒字化のための知恵として、「天引貯蓄」も教えます。これは、毎月の給料をもらったら、最初に積立額を差し引いて、給料が振り込まれる口座とは別の口座に移し、残りのお金で毎日の生活を賄っていくという方法です。皆さんも経験があると思いますが、給料のうち使わずに残った分を貯蓄しようとしても、なかなかお金は貯まりません。なお、天引貯蓄で活用する「別の口座」には、例えば積立口座や財形貯蓄口座などがあります。

夢や希望をかなえるための 「生活設計」

「家計管理」に比べると、「生活設計」は少しイメージしにくいかもしれませんが、「生活設計」は、①自分が将来、どんな生き方や暮らしをしたいかを年代（ライフステージ）ごとに具体的に計画するライフプラン、②ライフプランを実現する

ために必要となるお金はいくらかを見積もり、そのお金をどうやって準備するかを計画するファイナンシャルプラン（資金計画）からなります。例えば、①就職したのち、何歳で結婚するか、子どもは何人欲しいか、マイホームを建てるのは何歳のときかなどのライフプランを立て、②それを実現するために必要なお金（結婚式の費用、子どもの教育費、住宅購入費用など）を把握して、日々の生活費を支払いながら、いつまでにくら貯めかを計画していきます。「生活設計」は、一度計画を立てたら終わりというものではありません。講座では、社会人になってからも、状況の変化に応じて定期的に見直していくことの重要性も合わせて話をします。

ライフイベントにかかる お金を意識させる

私の講座は、アクティブラーニングの観点からワークを多めに取り入れていきます。まず初めに、人生で大きな資金が必要となる項目を示すイラストを見せ、お金がかかる場面を想像させます。高校生は、それぞれの項目にどのくらいのお金が必要なのか見当がつかないことが多いので、具体的な数字を全国平均のデータから書き込ませ、人生の三大資金といわれる「教育費用」「住宅費用」「老後費用」などの資金の大きさを感じてもらいます。

次に、2種類のワークシートを使って「生活設計」を体験してもらいます。一つ目のシートは、「ライフイベント表」です。ライフイベントとは人生の行事予定のことで、これから20年先までの自分自身を考えてもらうのですが、すんなり書き込める生徒はなかなかいません。そのためこの時間はクラスメイトと話しながら作業をしてもよいことにしています。いつも一緒にいる友人の違った面が垣間見えることもあるようで、これから20年の間に経験するであろう就職、結婚、子育て、かなえたい夢などを語り合うよい機会となっているようです。ライフイベント表を作成することで、自分の人生を具体的にイメージし、そのためにある程度まとまった資金を用意する必要があるということを知ることとして意識させるのです。二つ目のシートは、イベント表を実行に移した場合に家計がどのように推移するかを予測する「キャッシュフロー表」です。キャッシュフロー表は1年毎の家計の収支と貯蓄残高を表したもので、授業が2コマ(100分)の場合はゲーム形式で作成の仕方から教えますが、1コマの場合は、あらかじめ用意したキャッシュフロー表をも

図表1:キャッシュフロー表

年		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
年齢 (単位:歳)	私	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	父	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
	母	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
ライフイベント		就職		海外旅行	車購入			資格取得			結婚	車買い換え
収入 (単位:万円)	私の収入	190	190	190	190	190	190	200	200	200	200	200
	配偶者の収入										240	240
	収入合計	190	190	190	190	190	190	200	200	200	440	440
支出 (単位:万円)	生活費	96	96	96	96	96	96	96	96	96	150	150
	住居費	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	イベント費			35	160			40			360	220
	支出合計	156	156	191	316	156	156	196	156	156	570	430
年間収支(単位:万円)		34	34	-1	-126	34	34	4	44	44	-130	10
貯蓄残高(単位:万円)		50	84	83	-43	-9	25	29	73	117	-13	-3

赤字にならない対策

とに、家計の問題点の分析や見直しの方
法を教えます。後日、自分自身のキャッ
シュフロー表で、貯蓄残高が大きくマイ
ナスになったとしても、冷静に赤字を回
避する方策を考え、ライフプランを実現
に近づけることができるようにするため
の練習です。

.....

赤字を回避する方策を考える

.....

【設例】

Aさん 20歳。会社員。高校卒業後に
就職して、現在2年目。Aさんのライフ
イベントの希望は、友人と旅行する、車
を買う、資格を取得する、結婚するなど
ですが、それらの希望をすべて織り込ん
だ19歳から29歳までのキャッシュフロー
表を作成してみました(図表1)。年間
収支が赤字でもそれ以上の貯蓄があれば、
貯蓄の取り崩しで乗り越えられるので問
題はありません。ところが、22歳のとき
に160万円の自動車を現金で購入する
と、貯蓄残高が40万円以上の赤字(この
ままでは自動車購入は不可能)になりま
した。その数年後には結婚という大きな
ライフイベントも控えています。あなた
なら、どうしますか?

【考え方】

この答えは、一つではありません。
「もっと安い車を選ぶ」「十分な貯蓄が
できてから購入する」「ほかのイベント
の予算を削る」「払える範囲でローンを
組む」など、さまざまな方法があります。

こういった選択肢を数多く持つことこそ
がお金で困らないための防壁策になるの
です。ぜひ、そういった方法を一つでも
多く考える習慣を身につけてもらいた
いと思います。

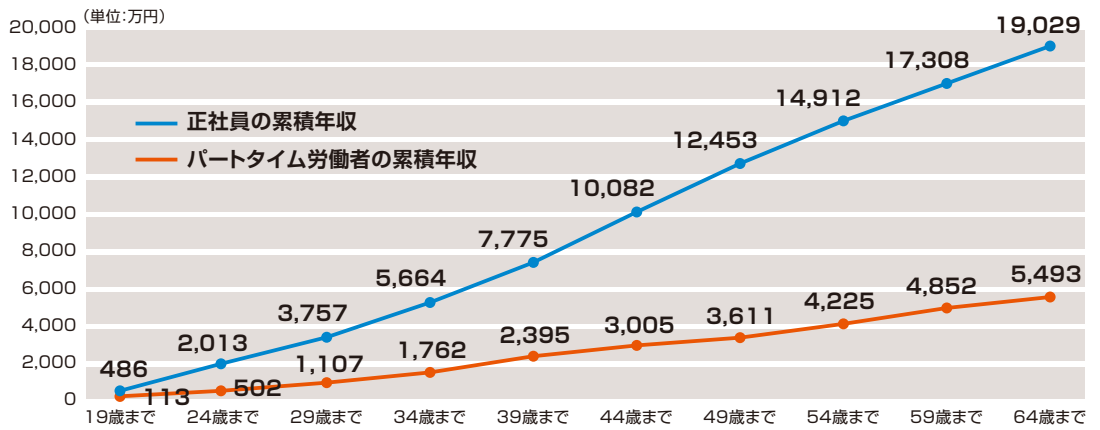
.....

**ライフプランを
実現するための働き方**

就職先が決まった卒業直前の3年生に
とって「生活設計」は一生のなかでいか
に上手にお金のやりくりをしていくかと
いう問題になります。これから進路や
職業、働き方を決める2年生にとっては、
将来の夢や希望とそれに必要な資金を具
体的にイメージし、そのためにどうお金
を稼ぐべきか、どういった進路や職業を
選択すればよいのか、を考えさせるキャ
リア教育の色彩が強くなります。現在、
働き方のスタイルは、正社員以外にも、
契約社員、派遣社員、パート・アルバイト
とさまざまな選択肢があり、正社員以
外の働き方に魅力を感じる高校生もいま
す。もっとも、どういう働き方を選択す
るかによって、将来的に収入の面で大き
な違いが出てくるということを知らない
高校生が多く、こうしたことをきちんと
理解してもらうことも大切なことです。

例えば、図表2を見てください。働き
始めの若いころは、大きな差を感じない
かもしれませんが、年齢を経るごとに、
正社員とパートタイム労働者の累積年収

図表2:正社員(高卒)とパートタイム労働者の累積年収比較表(2016年/平成28年)



資料:厚生労働省「平成28年賃金構造基本統計調査」

(注)2016年に高校卒業後すぐに就職し、64歳未満まで正社員として勤務する人と、2016年に高校を卒業後、64歳までパートアルバイトを続ける人の賃金。

の差は大きくなっていきます。また、この表にはありませんが、65歳以降の年金受取額にも大きな差が生じることも講義では付言します。これから進路を考える高校生には、どのような働き方を選択す

るかによって、生涯にわたって稼ぐことのできる金額が大きく異なり、それは、老後にも大きく影響するということをきちんと理解させ、目先のことだけではなく、長い人生を見通した選択をしっかりと考えてもらいたいと思います。

自立のために知るべきこと

このほか、卒業を控えた3年生には、経済的に自立するにあたって知っておくべきこと、知っていないと損をすることのなかから、卒業後すぐ困りそうな項目を教えます。クレジットカードはその代表例ですが、ジットカードはその代表例ですが、とくにリボ払いについては、毎月の支払いが定額で済む便利なサービスとしか認識しておらず、一般的なクレジットカード払いよりも高い利息を支払う仕組みであるという理解が薄いのが実情です。また、奨学金を借りて進学をする生徒も増えてきていますので、お金は借りたら返さなければならぬこと、返済時のことを考え余計に借りないこと、万一借り過ぎだと思ったら、貯金しておき卒業時

さらに、社会に出てすぐに勧められる可能性のある金融商品、とくに生命保険については、内容を理解しないまま契約してしまう生活が苦しくなるといったことがないよう、公的な保障制度や仕組み、金融商品の特徴をよく学んだうえで契約をすべきことも伝えていきます。

講義は、できるだけ分かりやすい言葉で伝えるよう努力していますが、聞きなれない用語などを一度聞いただけで完全に理解することは難しいと思います。しかし、これからの生活に関係するさまざまな用語に触れてもらう機会を作ることができればよいのです。お金のことは自分で考え、自分で学び、自分で選択していかなくてはなりません。そうしたことも含めて、お金について知るきっかけとなるのがこの講座の目的なのです。

学び続けることが人生を豊かにする

「お金に困らない」は、すなわち、お金が十分にある状態のことです。たくさん稼げば実現できるかとも思いますが、いく

ら稼いでも使い方が悪ければあつという間に無くなってしまいます。それよりは「お金で困らない」すなわち、お金の振り回されず、身の丈に合わない使い方により困ることがない人になってほしいと思います。自分のことは自分で考え、人生を通じてお金に関する勉強を続ける必要性を自覚することが何よりも大切です。そして人生の節目、節目でお金の面から人生を見直すことも大切です。それによって人生の充実度はまったく変わります。高校生には、ぜひ、お金に関する知識を学ぶことが人生を豊かにすることを知ってほしいと思います。



戸田 節子
とだ・せつこ

金融機関、会計事務所勤務を経て2001年ファイナンシャル・プランナーとなる。小学生から一般社会人向けまで年代に合わせた金銭・金融・キャリア教育、ライフプラン等FP関連講座の講師のほか相談業務を行っている。2005年岩手県金融広報アドバイザーの委嘱を受け現在に至る。東日本大震災後は被災地での生活再建相談を担当。一般社団法人 自立のための生活経済教育推進協議会理事、CFP®、DCプランナー、相続診断士、ライフプラン&マネー教育サポート 代表。盛岡市在住。

の
回
今
ま

- ★ お金の知識の学びは「家計管理」と「生活設計」が基本
- ★ 将来の夢や希望を実現し、必要な資金を稼げる自分になる
- ★ 年間収支や貯蓄残高を黒字にできる選択肢を手に入れる